



マーズウィーク 2003 火星大接近

「火星研究最前線～火星の研究者に会おう」

日本科学未来館（館長 毛利衛）では、8月2日（土）～8月6日（水）の期間、6万年ぶりに大接近する火星をテーマにしたイベントを開催いたします。第一線の研究者による講演会や、CGアートギャラリー、日本で研究が進められている5輪の火星ローバのデモンストレーション、火星の模擬砂や未来の火星レンガの展示、将来火星に生育させる生物の研究紹介、巨大火星儀や火星探査機「のぞみ」の模型展示、参加体験型工作「火星基地3Dカード」を開催いたしますので、是非この機会に、日本の火星研究の一端をご高覧下さい。

記

日時 : 2003年8月2日（土）～6日（水）
場所 : 日本科学未来館（〒135-0064 東京都江東区青海2-41）
講演会申し込み : (<http://www.miraikan.jst.go.jp/mars/01.html>)
お問い合わせ先 : 展示企画グループ 新井・菅原 TEL : 03(3570)9156

期間中 10:00～17:00

- ・池下章裕氏（フリーランスアーティスト）のCGを展示
- ・火星で育成させる生物の研究紹介
- ・400インチ大画面でNHKスペシャル「宇宙 未知への大紀行」上映（毛利衛・中山エミリ出演）
- ・上記番組にて登場する火星の模擬砂や未来の火星レンガの展示
- ・直径90cm火星儀展示（渡辺教具製作所協力）
- ・会場にはジオコスモス（直径6.5mの球体ディスプレイ）が火星になって上空に出現！
- ・ミュージアムショップでは、火星に関連したグッズを販売

8月2日（土） 13:30～15:00 講演会「火星の研究者に会おう」 先着100名

安達 誠 【東亜天文学会理事・企画部長】 「地上観測でとらえた火星の素顔」
松岡彩子 【宇宙科学研究所 太陽系プラズマ研究系助手】 「火星へ旅する人工衛星」
石川洋二 【(株)大林組 土木技術本部】 「火星での住み方、暮らし方」

8月3日（日） 13:30～15:30 講演会「火星の研究者に会おう」 先着100名

中串孝志 【京都大学大学院 人間・環境学研究科 日本学術振興会特別研究員】 「火星人が見上げる空」
小川佳子 【東京大学地震研究所 特別研究員】 「火星の水の行方、表層地形からわかること」
佐々木 晶 【東京大学大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 助教授】 「火星と地球の成り立ち」
毛利衛館長と3人の先生とのパネルディスカッション

8月4日（月）～8月6日（水）

火星ローバ研究者（宇宙科学研究所 下田真吾氏によるローバの実演 13:30、15:00）
参加体験型工作「火星基地3Dカード」（11:00-12:00、14:00-14:30）

取材のお申し込みは、以下のお問い合わせ先までお願い致します。

<お問い合わせ先>

日本科学未来館 広報室 担当 榊田 / 曾山

〒135-0064 東京都江東区青海2 - 41 TEL : 03-3570-9156 / FAX : 03-3570-9160

<mailto:m-masuda@miraikan.jst.go.jp> <http://www.miraikan.jst.go.jp/>

*****FAXお申し込み用紙(このままご返送下さい)*****

日本科学未来館 広報 榊田 行 FAX : 03-3570-9160

御社名	部署名
ご担当者名	媒体名
人数	名様
ご連絡先	() 放送・掲載予定日